



ノンアル昨今

会員 福崎 聖子 (54期)



ノンアル、どれだ？

ノンアルコールビール…はもう古い？

久しぶりに、ノンアルコールビールでも飲もうかな〜と、とあるスーパーに入って周囲を見渡してみると、「ない…!!」。なんと、そのスーパーには、一本もノンアルコールビールがなかった。

そのかわりに…棚にはフランス産やイタリア産のスパークリングワイン（赤白はもちろん、リンゴ味まである）、カクテルをはじめ、聞いたことのない名前のお茶や、ソフトドリンクが山のように並んでいる…。あまりの珍しさに、我ながら酔狂だわ〜、と思いつつ、目に付くネーミングのものを紙袋2杯買い込んで、早速、試してみることに。

私のノンアル歴

思いおこせば、約5年前から2年間ほど、私は、さんざんノンアルコールビールのお世話になった。大好きだったシャンパンが酸っぱく感じ、赤ワインに至っては毒の味(?)がして、すっかり飲めなくなった時、そう、私は妊娠していた。人間の身体というもの本当に不思議、私の中に芽生えた新しい命が、自らに不要なアルコールを、気の毒にも必死で拒んでいたものと思われる。

…そんな訳で、元々、大してビールは好きでもないが、当時は、「ノンアルコール」といえばビールしかなく、ノンアルコールのシャンパンやワイン、カクテルも、数えるほどしか見当たらなかったの（しかも、激マズ）、仕方なく、ビール「もどき」のお世話になっていたというのが正しい。あの頃、このノンアルシャンパンやドリンク達があれば、どんなに幸せだっただろう！

試した私の、勝手な感想

ともあれ、それが僅か数年後、こんなに輸入・開発され色々な種類があるなんて。やはり私のように、ノンアルコールビールでは飽き足らない酔狂な人が多く、

有難いことに、その需要が見直されたのだろう。ただいってみて、納得。流石、味覚の繊細な日本人って、やはり凄いわ〜と妙に感心。以下、勝手な私のランキングです。

① バジルシードドリンク（ホワイトグレープ味）

原産国：タイ、A社

ぷちぷち食感のバジルシードがホワイトグレープジュースをたっぷり含み美味！物珍しさと食物繊維たっぷりのヘルシーさも手伝い、堂々の第一位。他にもレモン味等がある。

② スパークリングジュース（アップル味）

原産国：フランス、B社

シードルとはまた違い、泡のきめ細かさと繊細なお味が秀逸。赤、白もあり、ボトルもシャンパンボトルそっくり！

③ 大人の○○○レモン 原産国：日本、C社

普通のレモン風味の炭酸飲料と何が違うのかというと皮を砕いたクラッシュレモン入りでカロリーゼロ。大人のノンアルは、勿論、カロリーゼロのものが多い。

④ なつめしょうが茶 原産国：日本、D社

なつめ、しょうがの他にも、はと麦、クマザサ、ヤーコンなど身体にいいものが数種類ブレンドされていて、疲れた身体に優しい感じ。但し、お味には少くせがあるかも。

…まだまだ紹介しきれない。特徴として、昨今のノンアルは「○○もどき」ではなく、正にドリンクそのもの、ピンで勝負しているということ。そのため、各々オリジナリティに溢れ、ネーミングにも目をひくものが多い。当然、お味も美味だし、とてもヘルシーと、いいことづくめである。

さて、大人の楽しみの一つとして、たまの休肝日、色々なノンアルを試してみるのが、これからクセになりそうな私である。